

児童発達支援事業所における自己評価結果

公表: 令和 3年 3月 22日

事業所名 児童サポートセンター カラーズ

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8	0	0	・未就学児のスペースを確保しております。	・活動の場を分けることで、落ち着いて活動が行えております。
	2 職員の配置数は適切である	6	1	1	・定員に対して、適切に配置しております。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	8	0	0	・身障者用のトイレやシャワー室を完備しております。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	2	0	・活動前後に清掃や消毒を行い、清潔保持に努めております。また、プレイマットやハンモック等心地よい空間作りに取り組んでおります。	・ブランコを設置致しました。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	4	1	・朝のミーティングや会議にて、支援の振り返りを行っております。	・ケース担当で、個別支援計画に基づき活動プログラムを実行しており、振り返りも担当を中心に行うことができております。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	2	0	・日頃から保護者との信頼関係の形成に努めております。(言葉使いや距離感)	・保護者の意向を引き出せるように努めて参ります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	0	0	・ホームページにて公開致します。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	0	8		・現在は行っていませんが、今後実施する必要性を検討しております。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	4	・事業所内研修を行っております。	・コロナの影響もあり、外部研修の機会を持つことができませんでした。次年度は、リモートでの研修を取り入れ研修の機会を確保致します。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8	0	0	・相談員からの情報や、保護者からニーズや課題・強みを分析し個別支援計画作成に当たっております。	・ケース会議を開催し、本人の課題(ニーズ)分析を行い実践しております。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	0	0	・アセスメントツールとしてエイブルを使用しております。	・個別に合ったアセスメントツールを模索しております。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	3	1	・家族支援については、適宜対応しております。	・地域支援につきましては、公園を利用して挨拶や遊具の使い方やルールを学び、地域住民等と交流しております。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	0	・計画に沿って、個別に合わせた支援を行っております。	・自立課題(活動プログラム)やビジョントレーニングを取り入れております。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	・チームを2班に分けて企画・立案後、全体で共有し、実行しております。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	2	0	・季節に合わせた行事や休日の企画を立て、年間行事・活動計画を作成しております。	・プログラムが固定化しないように、自立課題(活動プログラム)のバリエーションを増やしていきたい。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8	0	0	・個別計画書を基に、個別活動では自立課題(プログラム)を取り入れて、集団活動では、帰りの会等を行っております。	・子供たちの様子・状態をモニタリングの結果を踏まえ適宜活動プログラム(自立課題)やビジョントレーニングを取り入れております。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	・朝のミーティングにて、支援内容や役割り分担について確認しております。	・休日や長期休みには、前日に支援内容や役割り分担等を行っております。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	・支援終了後、日々の記録(支援日誌・実施記録)をとる中で、支援の振り返りや改善に向けて話し合いを持っております。	・日頃から支援日誌を活用し情報(支援について、申し送り事項、苦情・相談・キャンセル理由・その他)を共有しております。
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1	0	・日々の記録(支援日誌・実施記録)を基に、支援の検証や改善に繋げております。	・計画に沿った記録を心がけ、会議やミーティングで支援の検証を行い、改善に努めております。
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	・児童発達支援管理責任者が、ケース担当者から聞き取りや支援実施記録を基に情報収集を行い、見直しの必要性について話し合っております。	・ケース会議にて、幅広く状況を把握していきたい。	

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0	・児童発達支援管理責任者が参加しております。	・ケース会議にて、幅広く状況を把握していきたい。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	2	2	・相談支援事業所と連携しております。	・相談支援事業所と連携し、子育て支援等の機関の情報を提供しております。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	2	5	1	・現在、対象者はおりませんが、相談があった場合は、法人内の児童発達支援センターパステルやクリニック和睦、その他の外部の機関と連携し支援を致します。	
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	6	1	・現在、対象者はおりませんが、相談があった場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えていきたい。	
	25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5	3	0	・幼稚園と連携しております。	・児童発達支援管理責任者から、情報を得て共有化を図っております。
	26 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6	2	0		・年々学校を交えての会議が増えています。
	27 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	2	4		・児童発達支援センターパステルと連携しております。
	28 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	1	6	・新型コロナウイルス感染症の影響で、外部との活動機会を作ることができませんでした。	・コロナの状況を見ながら、交流の場が持てないか、検討していきたい。
	29 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3	5	0		・名護市障害児通所支援事業所連絡会へ参加しております。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	8	0	0	・送迎時や連絡帳を活用して情報を共有しております。	・送迎時や連絡帳を活用し、その日の出来事を出来た事や頑張ったことを中心に報告し、次へのステップに繋がるように共通理解を図っております。
保護者への説明責任等	31 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4	2	・必要に応じて、相談や悩みをお聞きし、支援を行っております。	・今後も必要に応じて、相談や悩みをお聞きし、解決できるように支援致します。
	32 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	・その都度、説明しております。	
	33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0	0	・児童発達支援管理責任者により、計画の説明等を行い、同意を得ております。	
	34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	3	・困り感の見える保護者に対して、児童発達支援管理責任者が情報を得て、必要な助言と支援を行っております。また、相談支援員へ報告し、必要に応じ関係機関会議を行っています。	・送迎時に、困り感などのお話をお聞きした場合は、主任、児童発達支援管理責任者、管理者へ報告し適切に対応しております。
	35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	3	・今年度はコロナの影響で、保護者同士の交流の場を持つことができませんでした。	・コロナの状況を見ながら、保護者同士の交流の場が持てないか、検討していきたい。
	36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7	1	0	・相談や申し入れがあった場合は、管理者や児童発達支援管理責任者、主任で話し合い対応しております。	
	37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1	0	・毎月たよりを発行し活動の内容を発信しております。また、年間行事・活動計画を年度初めに配布しております。	
	38 個人情報の取扱いに十分注意している	8	0	0		・会議やミーティング等にて個人情報取り扱いについて、注意を払っております。
	39 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・児童の特性に合わせ、言語、文字、絵カード等を活用しております。また、保護者の迎え時や自宅送り時に事業所での様子を申し送り等を報告しております。	・必要に応じて、連絡帳を活用しております。
	40 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	4	・新型コロナウイルスの影響で、事業所に招くことができませんでした。	・コロナの状況を見ながら、地域住民を事業所に招くことができないか検討していきたい。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	4	0	・年1回防犯訓練(不審者)行っております。	・保護者へ周知していきます。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0	0	・防火訓練は月1回、総合防災訓練年2回(消火訓練・津波避難)行っております。	・防火訓練は、児童の関心が高く、火事から身を守る合言葉として「おはしもち」を徹底しております。また、タオルやハンカチを鼻と口に当て、姿勢を低くして避難する児童もおります。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	8	0	0	・児童発達支援管理責任者が基礎疾患や服薬等確認しております。	
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	4	0	・現在、アレルギーのお持ちの未就学児は、おりません。	・児童発達支援管理責任者がアレルギー等確認している。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2	0	・ミーティングや会議にて、ヒヤリハットの報告を共有しております。	・ヒヤリハット報告書や支援日誌に記載しております。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	3	0	・事業所内研修を行っております。	
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	4	4	・現在、対象者はおりませんが、むを得ず身体拘束を行う場合は、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載します。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。